|  |
| --- |
| Charlotte Translate EP01 (Parte02) |
| 1- （タカジョウ）なるほど。こういう展開になるまで読んでいたと |
| 2- なら　ここからは私の役目。 |
| 3- （オトサカ）走って！すぐに！くそ～！ |
| 4- （タカジョウ）大丈夫ですか。 |
| 5- （ユミ）ええ　大丈夫です。 |
| 6- （オトサカ）何だ！一体 何が起こってるんだ。 |
| 7- お前、一体 何をした？ |
| 8- （タカジョウ）瞬間 移動です。 |
| 9- （オトサカ）瞬間 移動？ |
| 10- （タカジョウ）はい。字のごとく　一瞬で移動する能力ですが |
| 11- 都合よくぴたり止まりません。 |
| 12- この能力のおかげで　何度 病院 送りになったことか。 |
| 13- （オトサカ）《なんて不完全な能力だ。》 |
| 14- そんなことより　これから僕をどうするつもりだ。 |
| 15- （トモリ）我々の学校に転入してもらいます。 |
| 16- （オトサカ）転入？ |
| 17- （トモリ）はい。この世にはあなた以外にも　たくさんの能力者が存在しています。 |
| 18- でも　その特殊 能力は思春期の病のようなもので　やがて消えます。 |
| 19- それが消えるまであたしたちの学校 星ノ海 学園に通い続けてください。 |
| 20- すでに親権を持つ方には承諾をもらっています。 |
| 21- （おとさ）そんな話が・・・ |
| 22- （トモリ）あるんです。 |
| 23- しっかし　ルックスだけでモテそうなのに |
| 24- カンニングしまくって秀才まで演じる必要があったのでしょうか。 |
| 25- 甚だ疑問ですなぁ。 |
| 26- おかげでお目当ての女生徒とお近づきになれたか。 |
| 27- （オトサカ）貴様～～！ |
| 28- 何だ　消えた？ |
| 29- （タカジョウ）それは彼女の能力です。 |
| 30- （オトサカ）まさか、透明 人間になれる能力？ |
| 31- （タカジョウ）いえ。私には彼女があなたを殴っただけにしか見えませんでした。 |
| 32- （オトサカ）そんな　僕だけが見えてなかった。 |
| 33- （タカジョウ）そう。彼女の能力は一人の対象者から視認されない。 |
| 34- それ以外の人間には普通に視認できます。 |
| 35- （オトサカ）《また不完全な能力だ。》 |
| 36- （トモリ）ちなみに　あなたには私たちの生徒会に入ってもらいます。 |
| 37- あなたの能力は使えるので協力してください。 |
| 38- （オトサカ）何に？ |
| 39- （トモリ）あなたのように力を悪用している奴らを脅すためにです。 |
| 40- 私たちは　そういう存在なのです。 |
| 41- （オトサカ）ただいま。 |
| 42- （アユ）お帰りなさいませ　ユウお兄ちゃん。 |
| 43- どうしたの　その顔？ |
| 44- （オトサカ）あ・・いや。その体育の時間にちょっとな。 |
| 45- （アユ）そうそう　おじさんからすごい電話をもらったのです。 |
| 46- アユとユウお兄ちゃんは　星ノ海 学園の高等部と中等部に特待生として転入するって聞きました。 |
| 47- 本当なのでしょうか。 |
| 48- （オトサカ）《マジかよ。》 |
| 49- まあ　本当だ。 |
| 50- （アユ）家計が助かります。 |
| 51- しかも　おじさんからお祝いにおいしいものが届くそうです。 |
| 52- （オトサカ）けど　お前まで転校だぞ。 |
| 53- 友達と別れるけどいいのか？ |
| 54- （アユ）今はスマホで顔を見ながらおしゃべりできるので |
| 55- そこまで寂しくないのでござる。 |
| 56- （オトサカ）そっか。 |
| 57- （アユ）今日の夕食は・・・じゃん！！ |
| 58- ユウお兄ちゃんの大好きなオムライスです。 |
| 59- （オトサカ）《またか。》 |
| 60- 《それは子供の頃の話だと何度も言ってるのに》 |
| 61- （アユ）おめでとう！では　いただきます～～！ |
| 62- （オトサカ）《あまっ、このピザソースを隠し味に使うのが》 |
| 63- 《子供の頃の舌に合ていたんだろなぁ。》 |
| 64- （アユ）どう？おいしい？ |
| 65- （オトサカ）ああ　おいしいよ。 |
| 66- （アユ）本当お母さんもオムライス久々に食べたいな。 |
| 67- （オトサカ）お母さんか。そんな人のことはどうでもいいだろ。 |
| 68- （アユ）まだ怒ってるの？ |
| 69- （オトサカ）そりゃ当然さ。 |
| 70- 離婚して親権をおじさんに勝手に押し付けたんだから。 |
| 71- （アユ）アユにはよく分かりませんが、許してあげてほしいのです。 |
| 72- （オトサカ）僕たちに両親はいない。 |
| 73- 家族は僕とお前の二人だけだ。 |
| 74- （アユ）そっか～ |
| 75- でもね　アユ時々 思うんだ。もう一人家族がいたような気がするのです。 |
| 76- （オトサカ）兄弟は僕とお前だけだ。 |
| 77- 夢でも出てくるのか。 |
| 78- （アユ）そうだよね。 |
| 79- 本当でもあるような不思議な気分なのです。 |
| 80- （オトサカ）《完全な夢だよ。》 |
| 81- おい！明日は引っ越しで早いんだぞ。 |
| 82- そろそろ寝ろよ。 |
| 83- （アユ）もう少しめにお時間を |
| 84- （オトサカ）ほんと　星が好きなんだなぁ　お前。 |
| 85- （アユ）だって　人が行けない遥か彼方まで見えるんだよ。 |
| 86- それはすごいことだと思うアユなのです。 |
| 87- （おとさ）お前　学校でも星の話ばっかりしてるとはぶられるぞ。 |
| 88- （アユ）どうしてでしょうか。 |
| 89- （オトサカ）経験則。僕の人生において星の話じゃなく |
| 90- べのテレビの話で盛り上がるのが定石。 |
| 91- （アユ）ケイケンソク？ジョーセキ？ |
| 92- （オトサカ）分からなければいい。そろそろ寝ろ。 |
| 93- （アユ）了解でござる！！ |
| 94- すごい広い部屋なのです。 |
| 95- 本当にアユとユウお兄ちゃんの二人で使っていいんでしょうか。 |
| 96- お疲れ様でござる。 |
| 97- 不肖 めにも　お手伝いを |
| 98- （オトサカ）おい。業者さんがやってくれるからいいんだよ。 |
| 99- （アユ）少しでも力になれると思いましてなのですが |
| 100- （オトサカ）仕事を奪ってあげるな。 |
| 101- （アユ）そういう発想はアユにはありませんでした。 |
| 102- （ユミ）あの時　何があったのですか。 |
| 103- （オトサカ）それは言えなくて |
| 104- えと　実は星ノ海 学園に転入することになって |
| 105- あ・・その　色々あってさ。ごめん。 |
| 106- （オトサカ）《僕はこの能力がきえるまで　監視のない場所への移動は許されない。》 |
| 107- さんから会いに来てくれたら嬉しいな。 |
| 108- （ユミ）だって　あまりに遠すぎます。 |
| 109- せめて週に一回 代わり番こでとか。 |
| 110- （オトサカ）えお　それでもごめん。僕からはここに来れない。 |
| 111- （ユミ）どうして？ |
| 112- （オトサカ）どうしてと言われても |
| 113- 《この件に関しては他言 無用を強いられている。》 |
| 114- 僕にはどうしようもなくて？ |
| 115- （ユミ）あなたには感謝しています。 |
| 116- その気持ちは揺るぎません。 |
| 117- でも、あなたとはまだ交際していません。 |
| 118- だから　去るあなたを一方的に追いかけるなんて |
| 118- まるでストーカーのようじゃないですか。 |
| 119- （おとさか）もちろん　それは悪いと思ってる。 |
| 120- でも　僕からは会いに行けないんだ。 |
| 121- （ユミ）分かりました。これからは　それぞれの道を進んでいきましょう。 |
| 122- （オトサカ）それって |
| 123- （ユミ）私はあなたを命の恩人として |
| 124- その思いはいつまでも忘れずに過ごしていきます。 |
| 125- それだけです。 |
| 126- （オトサカ）そんな！ |
| 127- （ユミ）助けてもらい。ありがとうございます。 |
| 128- 本当に感謝しています。 |
| 129- でも、ここであなたとは　さよならです。どうかお元気で。 |
| 130- （オトサカ）この僕が・・・振られた？ |
| 131- （トモリ）こんにちはぁ！お邪魔しまぁす！というかしてまぁす！ |
| 132- （おとさか）いきなりなんだよ。 |
| 133- （トモリ）二人だと大変でしょ。お手伝いに来ました。 |
| 134- 皆さん！ユウお兄ちゃんと一緒の学校の方でしょうか。 |
| 135- （タカジョウ）はい。生徒会の者です。私は、こちらはさん。 |
| 136- 放課後になってので、お手伝いしようと寄ってみました。 |
| 137- （オトサカ）余計なお世話だ！ |
| 138- （トモリ）手伝わせてもらえますか。 |
| 139- （アユ）もちろん助かるのです～。 |
| 140- （オトサカ）なんて狡猾な |
| 141- （トモリ）では　手分けしていきましょう。 |
| 142- （アユ）お願いしまぁす。 |
| 143- （おとさか）これがが言っていた。 |
| 144- おじさんからのお祝いの美味しいものか。 |
| 145- 全部 さんラーメンかよ！！！ |
| 146- 見なかったことにしょう。 |
| 147- （トモリ）ちゃん。手品 見せてあげよっか。 |
| 148- （アユ）それは見たいのです～。 |
| 149- （トモリ）そこにいてね。一瞬の出来事だから。 |
| 150- （アユ）すごいのです。テレビに出ている人よりすごいのです～。 |
| 151- （トモリ）喜んでもらえた？ |
| 152- （オトサカ）《能力を遊びに使うな！》 |
| 153- 《の度肝を抜きすぎだろ！》 |
| 154- 遊ぶんだったら帰らせるぞ。 |
| 155- （トモリ）はいはいと |
| 156- お兄さんは怖いね。 |
| 157- （アユ）手伝ってもらってるのにね。 |
| 158- （タカジョウ）では　我々はこれでしつれいします。 |
| 159- （アユ）帰っちゃうの？　晩ご飯 作るから　食べていってほしいのです。 |
| 160- （おとさか）四人分の食器がない。 |
| 161- （トモリ）ということらしいので。 |
| 162- 大丈夫。また会えますから。 |
| 163- （アユ）How-Low-Hello |
| 164- （オトサカ）やっぱり流行ってるのか。 |
| 165- （アユ）そうだよ～！西森 ゆさ！ゆさりん！ |
| 166- 可愛いでござる。 |
| 167- （おとさか）こんなのが売れるなんて　世も末だな。 |
| 168- （アユ）アユの新しい学校　ユウお兄ちゃんの学校のお隣だから。 |
| 169- 一緒に行きたいのです。 |
| 170- （オトサカ）シスコンに思われるだろ。 |
| 171- （アユ）シスコン？何かのコンテスト？ |
| 172- （オトサカ）違う。 |
| 173- （アユ）にしても　星ノ海 学園なんて素敵な名前なのです～。 |
| 174- （おとさか）ああ　まるでお前のためにつけてくれたような名前だな。 |
| 175- その晩　夢を見た。 |
| 176- きっとの突拍子もない発言のせいだろう。 |
| 177- あの人は誰だったんだろう。 |
|  |